

『第 72 回体育大会』に寄せて

学校長 駒田 勝

いよいよ待ちに待った、体育大会の当日となりました。本年度も、こうして無事に体育大会が開催できますことに感謝し、心から喜びたいと思います。そして、何よりも皆で力を合わせ、今日の体育大会を大いに盛り上げ、楽しみましょう。

さて、現在はタレントとしても活躍されている吉田 沙保里さんは、リオデジャネイロオリンピック(2016)に女子レスリング 53kg 級で出場しました。五輪 4 連覇を目指しての出場でしたが、惜しくも敗れ、銀メダルに終わりました。試合後のインタビューで、涙ながらに「申し訳ない」と語る彼女の姿がとても印象的でしたが、それ以上に、多くの人々が「謝る必要なんてない」と声をかけ、さらに勝者のヘレン・マルーリス選手が、「吉田は私のヒーロー。彼女と戦えたことは本当に名誉なことです」と、敗れた吉田選手に深い敬意を表した言葉が、多くの人々の胸を打ちました。勝負事ですので勝ちにこだわることは当然のことであり、勝つことは素晴らしいことです。でも、相手もまた全力で挑んでいます。敗者である吉田選手を慮るマルーリス選手のこの姿勢は、私たちも大いに見習うべきものがあります。

体育大会は、ただ競い合うだけの場ではありません。勝利を目指すその過程で、仲間との絆を深め、相手への敬意を学ぶ場でもあります。今日の体育大会では、生徒全員が正々堂々と全力で競技に取り組み、最後まで勝ちにこだわる姿勢を持って競技に臨んでもらいたい。そして、勝っても負けてもお互いが全力を出し切り、気持ちよく競技できたことに、相手への敬意と感謝の気持ちを持ってもらいたい。また、そうした姿勢こそが龍高生としての絆を一層深めるものと考えます。勝利を目指しながらも、互いを讃え合う一日としていきましょう。

最後になりますが、ご多用の中、お越しいただいたご来賓の皆さま並びに保護者等の皆さまに感謝申し上げますと共に、本日の体育大会開催に向け入念に準備していただいた生徒会の皆さんをはじめ、クラス役員の皆さん等々、ここに集う全ての皆さんに心から感謝申し上げます。ありがとうございます。